

公益財団法人斎藤茂吉記念館令和4年度事業報告

概要

郷土が生んだ偉大な歌人斎藤茂吉の功績を称えるとともに、茂吉に関連する作品・資料等の収集保存と、多くの輝かしい業績を永く後世に伝え、地域の学芸及び文化の発展に寄与するための館内展示内容の拡充、広く斎藤茂吉及び斎藤茂吉記念館の普及・拡大のための動画配信、短歌の向上のための歌会(紙上歌会)・短歌作品募集等の事業を行った。

さらに、毎年継続的に実施している斎藤茂吉顕彰事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業規模を縮小して実施した。

一般社団法人日本記念日協会に許可申請を行い、5月14日を「斎藤茂吉記念日」として認可されたことを受け、生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会において記念日を公表した。

また、法人運営並びに施設管理に関しては、斎藤茂吉記念館別棟倉庫の新規設置と既存倉庫の解体・改修等を行った。

1, 公益事業

(1) 斎藤茂吉に関する情報・資料等の展示(斎藤茂吉記念館の公開)事業

ア, 斎藤茂吉記念館の一般公開(入館者実績)

○一般入館者	3,945人(個人3,296人・団体649人)
○観光契約入館者	58人(団体)
○身障者(付添者)割引入館者	212人
○減額・免除・招待入館者	1,637人(減額1,285人・免除190人・招待162人)
合計	5,852人(開館日数301日/1日平均19人)

※休館日64日(管理規則に基づく毎週水曜日、7月の第2週の7日間・年末年始)

イ, 常設展示 - 地階: 常設展示室「茂吉の世界とその作品」展(共催事業)

斎藤茂吉の足跡を辿りながら、数々の業績と魅力を伝える作品「自筆書画・原稿・書簡・著書・遺品など」の展示ほか、茂吉を深く理解するためのデジタル機器・グラフィック解説板の活用とともに、ふるさと山形・上山を生涯愛し続けた茂吉の様子をジオラマ等による紹介を主軸とする展示構成で実施した。

○茂吉世界へのいざない(動画・ジオラマ演出) ○茂吉森羅万象(国内・海外・ふるさと/デジタル画像等展示) ○茂吉交遊相関図(少年期・青年期・壮年期・医学期・晩年期) ○茂吉とふるさと山形・上山(茂吉少年の庭/生家周辺古地図) ○茂吉の生涯(ジオラマ解説:2台) ○茂吉の作歌姿勢 ○医学者茂吉(ジオラマ解説) ○茂吉の書画 ○茂吉の業績 ○茂吉の交遊 ○茂吉の著書 ○茂吉の肖像 他

ウ, 常設展示 - 地階: 映像展示室「斎藤茂吉の世界とその時代」

斎藤茂吉の生涯を概観し常設展示資料を補足するための展示映像について、定期的上映(約18分間・デジタルハイビジョン画像/静止画)を継続実施した。※映像解説資料「映像に出てくる斎藤茂吉のうた」を室内に配置(常時)

エ, 常設展示 - 1階: 集会室「茂吉晩年の居室」展(共催事業)

斎藤茂吉が死去した居間・書斎(晩年の居室)の展示、次男宗吉(北杜夫)旧蔵の茂吉の遺骨保管のための仏壇・骨壺(遺骨埋骨後)・骨箱類の展示、茂吉晩年の様子を示すエピソードと密接にかかわる人々を紹介し、関連資料を展示した。

また、2番組の選択上映の映像展示として「父・茂吉の思い出」と「茂吉追憶」、情報検索装置として「茂吉アーカイブス・茂吉ライブラリー」の継続設置により情報提供等を行った。

オ, 常設展示 - 1階: ロビー「茂吉の人となり」短歌とは/短歌全史「斎藤茂吉短歌文学賞」斎藤

茂吉ジュニア短歌コンクール」

展示室入口(階段・エレベーター通路脇)壁面を利用した展示として、タッチパネル式ディスプレイ(デジタルコンテンツ：斎藤茂吉記念館概説・茂吉全史／年譜・茂吉歌碑マップ)とグラフィックパネル(短歌とは・短歌全史／近代短歌の系譜・斎藤茂吉歌碑：全国・県内の歌碑分布図・建立数)の継続掲示、壁面メッシュパネルにおいて斎藤茂吉短歌文学賞(事業概要・各回受賞者)と斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール(事業概要・最新の最優秀賞受賞者作品6首ほか、優秀賞作品52首、入選作品全200首)の掲示を行った。

カ、常設展示 - 別棟(みゆき公園内)：書齋「箱根山荘の勉強部屋」

神奈川県箱根強羅の斎藤家別荘離れとして、茂吉が毎年夏に原稿等執筆のため利用した「箱根山荘の勉強部屋」と「移築記念碑」の設置に伴い、人感センサーによる自動音声解説装置(照明連動・グラフィック展示)を継続的に運用した。

キ、常設設置 - 1階：ロビー「キッズサロン」「茂吉なりきり写真館」「茂吉短歌ポスト」等

入館した子どもから大人まで、楽しく遊びながら斎藤茂吉に親しむ空間として、ロビーの一部を利用した「キッズサロン」(茂吉短歌かるた・茂吉パズル・市販の学習遊具・絵本などを配置)、茂吉に変身して記念撮影を行う「なりきり写真館」、短歌の普及として気軽に作歌するための「茂吉短歌ポスト」の館内投稿設備(自立ポスト)、茂吉自作短歌朗詠を継続的に設置した。

ク、常設設置 - 「展示情報等音声解説機器／音声ガイド」の設備設置と活用

施設概要・展示内容・作品鑑賞等の情報提供による入館者のサービス向上等を目的とした機器設備(日本語解説15台、英語訳解説5台の計20台)の有料貸出を行った。また、機器貸出時においてプログラムガイドを利用者に配布した。令和4年度貸出利用台数：115台

ケ、特別展「収蔵資料展-斎藤茂吉、新たな魅力の発見-」(共催事業)

新たな資料の収集活動状況等の周知と館内常設展示資料の補足、また、日ごろから展示する機会が少ない資料等を中心に斎藤茂吉の魅力について、さらに理解を深めていただくため開催した。

展示資料として、墨書作品(半切・色紙・短冊等)を中心に、原稿、絵画、書簡、日用品(食器、置物等)、写真、解説パネル等を展示した。

※展示資料点数：53点(解説・写真パネル等を含む)

※会期：令和4年4月29日(金)から同年8月30日(火)まで「101日間」

※会場：守谷夫妻記念室(地階)

○PRのためチラシ・ポスター等の印刷物作成・配布、テレビコマーシャル、マスコミ各社への投げ込み、Webサイト掲載などを行った。

コ、生誕140年特別展「若き日の斎藤茂吉-上山から東京へ-(そして医学者茂吉、長崎・海外に向かう)」(共催事業)

上山に生まれて上京後は斎藤家の一員となり青年期に至るまでの斎藤茂吉の様子と、その時々的心情等を表した作品・資料を介して、若き茂吉の姿をとらえながら、数多くの優れた作品を残した背景等を探るため、生誕140年を記念して開催した。

主要展示資料としては、少年・青年期の墨書作品、絵画、書簡を中心に、原稿、旅行トランク等と解説パネルにより構成・展示を行った。

※展示資料点数：43点(解説・写真パネル等を含む)

※会期：令和4年9月16日(金)から同5年3月31日(金)まで「163日間」

※会場：守谷夫妻記念室(地階)

○チラシ・ポスター等印刷物作成・配布を行い周知するとともに、テレビコマーシャルの実施、ラジオ出演による周知、マスコミ各社に対する周知、Webサイト上におけるPRを展開した。

(2) 資料の収集保存・整理と調査・報告事業

ア、資料等の収集と収蔵品の管理

斎藤茂吉を中心とした作品・資料等の収集、寄託品を含む収蔵品を円滑に管理・活用するための調査と整理を行った。

	令和3年度・令和4年度/新規	
○基本財産収蔵品(A評価資料)	2,472点	2,465点 + 7点
○その他の収蔵資料(B評価・C評価資料)	3,887点	3,886点 + 1点
○除外資料(工事等記録映像・一般歌集・図書等)	4,207点	(4,084点 + *123点)
○新規除外資料(図書資料のみ)	108点	(*123点) 108点
	合計	10,674点 : 10,558点 + 116点
○寄託品資料《個人短期:965点/個人長期:171点/上山市:2,208点/山形県:1点》	合計	3,345点
収蔵資料数	総計	14,019点

※主要新規寄贈資料

*愛知県名古屋市の斎藤茂吉の長女の遺族から、斎藤茂吉の絵画の寄贈(1点/令和4年4月1日受領/令和元年度より寄託品として保管していた資料)

*神奈川県川崎市の黒江三郎氏の遺族(黒江哲郎氏)から、斎藤茂吉の手紙の寄贈(1点/令和4年10月30日受領)

*南陽市在住の黒江二郎氏の遺族(黒江智子氏)から、平福百穂の絵画、伊藤左千夫の手紙の寄贈(4点/令和5年3月19日受領)

イ、斎藤茂吉に関する調査研究・啓発・年次報告等のための印刷物の発行

◎「2021(令和3)年度斎藤茂吉記念館年報 通巻第37号」(2021/4~2022/3)

1年のあゆみ、諸事業実績、法人運営、入館者状況、決算報告、新規資料一覧等を掲載

※A4判26頁(令和4年12月15日発行)

◎館報「茂吉記念館だより-生誕140年記念号-第25号」

外部寄稿(3氏)、館長随筆、茂吉の遺骨・埋骨式について(報告)、定例歌会概要、収蔵資料紹介、短信(掲示板)等を掲載

※A4判14頁(令和4年12月15日発行)

(3) 学芸及び文化振興のための普及事業

ア、斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール(共催事業)

◎令和3年度第19回応募作品における最優秀賞作品・優秀賞・入選作品の賞状授与

入選作品集「桜実」及び関係機関・報道等において発表した最優秀賞受賞者6人(小・中・高校の各部門2首/計6作品)の表彰式を、生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会開催時(令和4年5月15日)に実施した。※会場：三友エンジニア体育文化センター・エコーホール

県内外の各賞受賞校(者)に賞状(令和4年5月15日付)を郵送した。

◎第20回短歌作品募集と選考(作品選考)

○小・中・高校の児童・生徒を対象とした短歌作品の応募要項策定(チラシ印刷)・募集(学校・短歌団体単位の応募：1人1首)を実施した。(募集期間：令和4年11月11日から同5年1月13日まで)

※主催者打ち合わせ会：令和4年10月18日(斎藤茂吉記念館)

※応募総数10,502首(県内5,387首・県外5,115首)／応募学校数141校(県内60校・県外81校)

○選考委員による作品選考(第1次審査「200首選考」令和5年1月31日)(第2次審査「60首選考／重複選考により53首」同年2月14日)(最終選考「6首／小・中・高校各2首」同年2月17日)を実施するとともに、最終選考後に最優秀賞を発表し、関係機関・報道等に通知した。

※第1次選考選者：山形県内在住の歌人14氏(山形県歌人クラブ会員)／第2次・最終選考選

者：県内外著名歌人：大瀧保・田村元・結城千賀子の3氏

○最優秀賞の表彰式は、令和5年5月14日開催予定の没後70周年第49回斎藤茂吉記念全国大会(令和5年度事業)において実施するものとし、合わせて優秀賞及び入選を対象とした表彰(賞状の授与)に伴う準備を行った。(最優秀賞・優秀賞・入選の各賞状：令和5年5月14日付)

◎第20回入選作品集の発行

最優秀作品・優秀・入選作品全200首と選考委員の選評・最優秀作品受賞者のことば等を掲載した作品集「令和4年度第20回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品集 桜実(Sakurago)」を、令和5年3月15日付で発行し、県内市町村教育委員会、応募協力学校(小・中・高校)、図書館等に配布した。※A5判54頁

◎最優秀作品の掲示(斎藤茂吉記念館内ロビー壁面)

令和3年度第19回最優秀作品(小・中・高校各2首/計6首)のほか、優秀作品(52首)・入選作品(200首)を、斎藤茂吉記念館内1階壁面に掲示した。

イ、講座等事業

◎第21・22回定例歌会(共催事業)

斎藤茂吉記念館諸事業の周知・誘客と短歌実作の向上等を目的に、平成25年度からの継続事業として行っている超結社の歌会形式による定期的歌会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第21回・第22回については集会的な歌会を取りやめ、紙上歌会として開催した。

また、各回ともに参加者による投稿歌の互選・歌評と、講師による全作品を歌評する紙上歌会として案内・投稿チラシを作成し、これまで定例歌会に参加実績のある歌人等を対象に、案内チラシによる作品募集を行った。

さらに、各回の紙上歌会実施に際して講師と参加者の歌評を掲載する「定例歌会【紙上歌会】作品集」を発行した。

○第21回定例歌会(紙上歌会)

※募集期間：令和4年6月10日から同年6月24日まで/定員50人/参加費：無料

※講師：秋葉四郎氏(斎藤茂吉記念館館長・歌人「歩道」発行人)

※作品一覧を参加者に郵送(返信葉書同封)し互選・歌評を依頼(締切：令和4年7月15日)

※参加(投稿)者数：45人(首)

※紙上歌会作品集発行(互選結果・講師選歌公表)：令和4年8月9日

○第22回定例歌会(紙上歌会)

※募集期間：令和4年10月14日から同年11月1日まで/定員50人/参加費：無料

※講師：秋葉四郎氏(斎藤茂吉記念館館長・歌人「歩道」発行人)

※作品一覧を参加者に郵送(返信葉書同封)し互選・歌評を依頼(締切：令和4年11月25日)

※参加(投稿)者数：57人(首)

※紙上歌会作品集発行(互選結果・講師選歌公表)：令和4年12月26日

ウ、茂吉短歌ポスト(共催事業)

短歌の普及拡大と啓発のため、広く短歌作品を募集し選歌・作品集刊行のための準備等を行う通年実施の事業として「短歌ポスト」を設置するとともに、投稿用紙を兼ねた印刷物の配布、投稿作品の選歌(県内主要歌人による選歌「入選3首・佳作5首」)と入選者公表を実施した。

また、入選・佳作・投稿全作品を掲載する「茂吉短歌ポスト作品集 第28集」を発刊した。

○50首程度を目処に選歌を依頼し、令和3年度は、1回実施した。

入選・佳作者には賞状を贈呈、選歌結果を斎藤茂吉記念館ホームページにおいて公開した

※選歌(投稿)数：第133回(山川ひろみ氏選)54首/入選3首・佳作5首

○「茂吉短歌ポスト作品集 第28集」の発刊 第129・130・131・132回の各回入選・佳作作品と

全投稿作品(210首)を収載し、令和4年8月31日付で発行した。

※A5判46頁(応募者全員・関係者・関連施設・関係団体等に配布/送付)

エ、ホームページの開設

斎藤茂吉記念館・斎藤茂吉の諸情報の提供、諸事業に関する情報発信等を目的として、公式ホームページを開設、定期的に情報を更新した。(URL <https://www.mokichi.or.jp>)

オ、有料動画「斎藤茂吉ものがたり-その魅力、その偉大さ-」配信とDVD作製・販売

館長と著名な歌人(梅内美華子氏)出演による斎藤茂吉記念館内外を巡る動画番組『斎藤茂吉記念館オンラインツアー 秋葉四郎館長が語る「斎藤茂吉ものがたり その魅力、その偉大さ」』の有料配信を令和3年8月2日から令和4年8月1日までの間実施するとともにDVDを作成、販売した。

視聴方法、購入方法等は、斎藤茂吉記念館ホームページにおいて告知した。

なお、DVDはケース入りで200枚作製、購入特典として斎藤茂吉記念館無料入館券(2人無料/令和7年12月27日まで有効)を添付して館内において販売している。

カ、普及版パンフレット(令和5年度版)作成・配布

前年度に引き続き普及版パンフレットを作成して上山市内の宿泊施設、飲食店、観光施設等に配布した。

次年度(令和5年度)の年間イベントガイド(年間展示・行事スケジュール等)のほか、施設概要・展示内容、上山市内の詳細なマップ等を掲載した。

また、パンフレットに入館者の増加を目的に入館料金割引(大人・学生各100円引、小人50円引)の特典を付した。

(4) 歌会及び記念事業等、斎藤茂吉の業績顕彰の事業

ア、斎藤茂吉記念全国大会(共催事業)

生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会を開催するとともに全国大会記念歌集を作成した。

また、大会当日の4月26日に(一社)日本記念日協会から認可された「斎藤茂吉記念日」(5月14日)を公表した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場の入場人数を制限したほか、これまで開催していた記念レセプションを中止した。

さらに、次年度開催予定の没後70周年第49回斎藤茂吉記念全国大会の事業計画策定及び参加・同歌集第49集投稿募集案内等に取り組んだ。

◎生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会の概要

○令和4年5月15日(日):墓前行事・斎藤茂吉記念歌集第48集の献上:関係者のみ列席(斎藤家・斎藤茂吉記念全国大会事業主催者・斎藤茂吉記念全国大会運営委員等)/斎藤茂吉の遺骨埋骨式・墓参 参列者50人/斎藤茂吉記念日(5月14日)の認定公表・第33回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式(賞の贈呈・選考経過報告・受賞者挨拶)・第19回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀作品表彰式(受賞者6人・選考経過報告)・記念鼎談「斎藤茂吉とその家族(妻・子・孫たち)」(斎藤茂一・斎藤由香・秋葉四郎)・記念講演会「ニュース映画を見る斎藤茂吉」(吉川宏志氏) 参加者:180人(三友エンジニア体育文化センター・エコーホール)

◎斎藤茂吉記念歌集第48集の発行

一般投稿作品と児童・生徒入選作品を収載し斎藤茂吉生誕日の令和4年5月14日付で発行した。

○A5判131頁 一般作品:618首(人)・児童・生徒入選作品(第19回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品):200首、計818首収載

※歌集編集委員会の開催:令和4年4月7日(斎藤茂吉記念館集会室)委員4氏出席

◎没後70周年第49回斎藤茂吉記念全国大会事業計画の策定

○運営委員会の開催(令和4年8月29日)斎藤茂吉記念館集会室:「没後70周年第49回斎藤茂吉

記念全国大会日程・同記念歌集第 49 集募集要項等について「運営委員の委嘱状交付」委員(歌人)：大瀧保・鎌上純子・雁部貞夫・布宮雅昭・皆川二郎の 5 氏／※没後 70 周年第 49 回斎藤茂吉記念全国大会参加と同記念歌集第 49 集投稿募集及び広報／募集期間：令和 4 年 11 月から同 5 年 3 月 3 日(投稿募集)・同 5 年 4 月 18 日(大会参加募集)まで

○没後 70 周年第 49 回斎藤茂吉記念全国大会：令和 5 年 5 月 14 日(日)

墓前行事／宝泉寺：読経・焼香・記念歌集献上(関係者のみ)、記念行事／三友エンジニア体育文化センター(エコーホール)：第 34 回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式、第 20 回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀作品表彰式、没後 70 周年記念座談会(第一部「晩年の斎藤茂吉とその短歌」、第二部「斎藤茂吉以後の短歌・歌人たち」)：登壇者小島ゆかり・中川佐和子・佐佐木頼綱《進行》・雁部貞夫の 4 氏、*参加事前申込者に限り令和 5 年 5 月 12 日から同 15 日までの 4 日間、斎藤茂吉記念館の入館料を無料とした。

○斎藤茂吉記念歌集第 49 集

1 人 1 首(題：自由)・投稿作品はすべて記念歌集に掲載・投稿料：有料

イ、斎藤茂吉短歌文学賞(共催事業)

○第 33 回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式(生誕 140 年第 48 回斎藤茂吉記念全国大会時/令和 4 年 5 月 15 日(日)・会場：三友エンジニア体育文化センター・エコーホール 受賞者：岡野弘彦氏 /作品：歌集『岡野弘彦全歌集』(青磁社刊)

○第 34 回斎藤茂吉短歌文学賞：受賞者：佐藤通雅 氏 /作品：『岸边』(角川書店刊)

ウ、没後 70 周年第 56 回記念茂吉忌合同歌会(共催事業)

斎藤茂吉を顕彰するとともに県内歌壇等の振興・交流等を図るための茂吉を偲ぶ超結社の行事として、没後 70 周年を記念する特別行事「記念座談会」と歌会を、茂吉の命日に近い日曜日にあたる令和 5 年 2 月 26 日(日)に開催した。

○主催者打ち合わせ会(令和 4 年 9 月 22 日/斎藤茂吉記念館)

○没後 70 周年第 56 回記念茂吉忌合同歌会

会場：斎藤茂吉記念館・集会室

内容：記念座談会「山形の歌人、師を語る」(井上菅子・大瀧保・佐藤幹夫・布宮雅昭の 4 氏)・歌会(選者講評・特選・入選者表彰等)

※選者講評：大瀧保・布宮雅昭・山川ひろみの 3 氏(各選者ごと特選 1 首・入選 2 首を選歌)

※歌会出席者：60 人(一般 43 人・関係者等 17 人)

○「没後 70 周年 第 56 回記念茂吉忌合同歌会作品集」(令和 5 年 2 月 26 日発行)

※B5 判 10 頁・投稿数：95 首(人)(掲載取り下げ 1 首含)

「没後 70 周年 第 56 回記念茂吉忌合同歌会入選作品」(令和 5 年 2 月 26 日発行)

※B5 判 2 つ折・特選 3 首、入選 6 首

(5) 関連団体等の文化活動に対する協力

ア、団体・専門機関・出版社等に対する資料の貸与・調査、写真資料掲載等のための協力

○写真資料の貸与及び印刷物等掲載の承認 申請許可件数：8 件/点数：20 点

○資料撮影(館内撮影)・転載(掲載)の承認 申請許可件数：4 件/点数：5 点

○収蔵資料の貸与及び展示の承認 申請許可件数：2 件/点数：9 点

◎各種事業への協力(貸出等の点数は上記承認実績に含む)

○村山市立図書館展示会「歌人 高橋宗伸展」

村山市立図書館主催により令和 4 年 6 月 1 日から同年 6 月 30 日まで開催された展示会にあたり色紙・原稿用紙・写真資料(10 点)を貸し出した。

○山寺芭蕉記念館企画展「子規からの近現代俳句 -子規の俳句革新から現代俳句まで-」

山寺芭蕉記念館(公益財団法人山形市文化振興事業団)主催により令和 4 年 11 月 26 日から同 5

年2月6日まで開催された企画展にあたり資料(1点)を貸し出した。

イ、外部団体(個人)の依頼による斎藤茂吉関連の調査等の協力

- 資料持ち込みによる内容調査(年度内随時)
- 個人・団体発行の冊子・広報紙等における執筆及び情報・資料等の提供
- 斎藤茂吉歌碑建立に伴う情報提供と資料調査

ウ、各種団体の文化活動等に対する協力

- 「第6回U-39 やましん紙上歌会」
山形新聞社の主催のより、令和4年4月15日から同年9月15日まで開催されたやましん紙上歌会の後援団体として協力した。
- 「斎藤茂吉記念第29回中川町短歌フェスティバル」
北海道中川郡中川町教育委員会の主催により、令和4年6月1日から短歌募集を行い同年10月31日に作品集を発刊した中川町短歌フェスティバルの後援団体として協力した。
- かみのやま温泉かかし展示9days
上山市内小・中学校応募短歌作品の選歌等に協力(展示期間：令和4年9月10日から同月18日まで)した。
- かみのやま博物館連絡会(上山市内博物館3館)
3館共同印刷物(他機関からの支援・後援・広告協賛/上山市・同教育委員会・上山市観光物産協会・明日のそばを語る会)として、「かみのやまウェルカムパスポート」の継続運用(令和元年10月1日より)を行った。(有効期限：発行から2年間)
- 「市報かみのやま」への寄稿
「市報かみのやま」の斎藤茂吉生誕140年・没後70周年を記念した特別企画にあたり、秋葉四郎館長の随筆「茂吉入門-その魅力・その偉大さ-」を掲載(令和4年4月号から令和5年3月号までの全12回)した。

2, 頒布事業

公益事業の推進に資するための斎藤茂吉記念館内における頒布事業の実施

※斎藤茂吉記念館館内頒布品を対象に、上山市ふるさと納税制度に基づく返礼品の登録を前年度より行い、継続的に物販業務を実施した。

- 斎藤茂吉記念館内展示資料等に関連するものを中心とした自主作製頒布：73種(有料)
- 見学者に有益である資料について関連業者からの委託頒布：31種(有料)

3, 法人運営及び施設管理事業

(1) 法人運営(公益財団法人の運営体制の整備等)

ア、斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づく運営・事業の実施

斎藤茂吉記念館に対する協力及び理解を高め、事業活動の推進に資することを目的として、斎藤茂吉記念館開館50周年を記念し平成29年度において制定した公益財団法人斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づき、入会の勧誘・促進と周知等の事業運営を継続的に実施した。

イ、公益財団法人斎藤茂吉記念館大使の任命

斎藤茂吉並びに斎藤茂吉記念館の普及・周知等のために、斎藤茂吉の親族を対象に大使として任命しているが、前回の任期が満了したことに伴って継続任命(令和4年4月1日～同6年3月31日までの2年間)した。

※任命対象者(斎藤茂吉の孫)2氏：斎藤茂太氏長男 斎藤茂一氏・北杜夫氏長女 斎藤由香氏

ウ、斎藤茂吉の親族等に対する対応

- 上山市金瓶宝泉寺の斎藤茂吉墓域管理並びに整備等の協力を行った。(宝泉寺・金瓶学校保存会の活動に対する協力等)

○令和2年度に茂吉の次男齋藤宗吉(北杜夫)氏の遺族から受領した齋藤茂吉の遺骨について、齋藤家遺族、親族等を招いて生誕140年第48回齋藤茂吉記念全国大会の墓前行事後に「埋骨式」を行い埋骨した。

(2) 施設管理等の整備拡充事業

ア、管理規則第3条第1項に基づく休館及び休館日の活用

7月の休館日「令和4年7月3日から同月9日まで」を利用して常設展示室内の清掃作業と、職員の知識向上のための歌碑見学等の研修を行った。

※常設展示室の清掃作業：令和4年7月3日から同月4日まで

※職員研修：令和4年7月8日(上山市内/職員4名)

イ、齋藤茂吉記念館施設・設備等の管理

○事務・事業用ノートパソコン1台を設置(令和4年4月28日)

○齋藤茂吉記念館別棟倉庫(上山市金瓶湯坂山地内)建設工事及び既存倉庫解体工事の(令和4年8月24日から同年10月31日)

※倉庫設計業務委託(令和4年4月4日から同年5月31日)

※倉庫工事業者指名競争入札(令和4年8月19日)

※建築確認検査の実施(令和4年11月15日/工事完了)

○齋藤茂吉記念館別棟収納庫(上山市金瓶湯坂山地内)設置(令和4年9月26日)

○齋藤茂吉記念館既存倉庫(上山市金瓶湯坂山地内)の改修工事(エアコン設置・窓塞ぎ)
(令和4年10月15日)

○齋藤茂吉記念館建物各所(漏水部屋根・玄関軒天井・ラウンジ軒天井・ラウンジ柱塗装)修繕工事(令和4年10月24日から同年11月15日)

○齋藤茂吉記念館内・別棟設置消火器更新(令和4年12月27日)

○事務・事業用デスクトップ1台を設置(令和5年3月16日)

○館内エレベーター設備機器と周辺設備の利用案内と管理(定期点検)

○齋藤茂吉記念館収蔵庫内湿度調節器修繕(令和5年3月23・24日)

○多目的トイレの利用案内と管理

○その他、建物内外のバリアフリー箇所の案内と管理

4, 経過報告

《令和4年》

4月 1日	山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく定款の一部変更(基本財産の変更)に係る変更届の提出
4月 1日	職員(事務局長)の任命辞令発令・職員(業務係主事兼学芸員・学芸員)の昇給辞令発令 嘱託職員(専門員)2名の任命辞令発令
4月 26日	一般社団法人日本記念日協会より5月14日を齋藤茂吉記念日とする登録証交付
5月 20日	令和3年度山形県博物館事業共催負担金実績報告書の現地検査(検査員:山形県観光文化スポーツ部文化スポーツ振興課職員2名)
6月 2日	令和3年度業務執行監査(齋藤茂吉記念館館長室 監事2名)
6月 14日	公益財団法人齋藤茂吉記念館第38回理事会(齋藤茂吉記念館集会室) ○承認事項 承認第32号 公益財団法人齋藤茂吉記念館令和3年度事業報告、計算書類等について ○決議事項 議第113号 重要な使用人の選任について 議第114号 公益財団法人齋藤茂吉記念館第32回評議員会の招集決定について

- ※報告事項 (1)職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況
(2)公益財団法人斎藤茂吉記念館令和3年度資金運用状況報告について
- 6月 14日 令和4年度第1回工事指名競争入札参加者審査委員会(倉庫建設)
1. 斎藤茂吉記念館倉庫建設工事
- 6月 15日 職員(事務局長)退職
- 6月 16日 職員(事務局長)の任命辞令発令
- 6月 28日 公益財団法人斎藤茂吉記念館第32回評議員会(上市市役所政策会議室)
○承認事項
承認第69号 公益財団法人斎藤茂吉記念館令和3年度計算書類等について
○決議事項
議第64号 公益財団法人斎藤茂吉記念館理事の選任について
- ※報告事項 (1)公益財団法人斎藤茂吉記念館令和3年度事業報告について
(2)職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況
(3)公益財団法人斎藤茂吉記念館令和3年度資金運用状況報告について
- 6月 28日 公益財団法人斎藤茂吉記念館第39回理事会(書面決議)
議第115号 代表理事、業務執行理事の選定及び資金運用責任者の任命について
- 7月 3日 管理規則第3条の規定に基づく休館(7月9日までの7日間)
- 7月 30日 山形県知事に事業報告等に係る書類を提出
- 10月 4日 公益財団法人斎藤茂吉記念館第40回理事会(斎藤茂吉記念館集会室)
○決議事項
議第116号 公益財団法人斎藤茂吉記念館令和4年度収支予算の一部変更について
議第117号 公益財団法人斎藤茂吉記念館就業規則の一部改正について
議第118号 公益財団法人斎藤茂吉記念館第33回評議員会の招集決定について
- ※報告事項 (1)職務執行報告について
ア. 事業執行状況 イ. 入館者状況 ウ. その他
(2)資金運用状況報告について
- 10月 11日 令和3年度運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査(検査員:山形県観光文化スポーツ部文化スポーツ振興課職員2名)
- 10月 25日 公益財団法人斎藤茂吉記念館第33回評議員会(斎藤茂吉記念館集会室)
○承認事項
承認第70号 公益財団法人斎藤茂吉記念館令和4年度収支予算の一部変更について
承認第71号 公益財団法人斎藤茂吉記念館就業規則の一部改正について
○決議事項
議第65号 公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部変更について
- ※報告事項 (1)職務執行報告について ア. 事業執行状況 イ. 入館者状況
(2)公益財団法人斎藤茂吉記念館資金運用状況報告について
- 11月 1日 公益財団法人斎藤茂吉記念館職員採用辞令交付
- 11月 27日 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく定款の一部変更(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産の件数変更)に係る提出書を提出
- 《令和5年》
- 2月 7日 斎藤茂吉記念館受付職員採用面接(1名採用)
- 3月 10日 公益財団法人斎藤茂吉記念館第41回理事会(斎藤茂吉記念館集会室)
○承認事項

- 承認第 33 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 5 年度事業計画並びに収支予算について
- 承認第 34 号 基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)の除外について
- 承認第 34 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 5 年度資金運用計画について
- 決議事項
- 議第 119 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 34 回評議員会の招集について
- 議第 120 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館給与規程の給料表改定について
- 議第 121 号 重要な使用人の選任について
- ※報告事項 (1)職務執行報告について ア.事業執行状況 イ.入館者状況
- 3 月 28 日 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 34 回評議員会(上山市役所政策会議室)
- 承認事項
- 承認第 72 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 5 年度事業計画並びに収支予算について
- 承認第 73 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 4 年度資金運用計画について
- 承認第 74 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館給与規程の給料表改定について
- 決議事項
- 議第 66 号 基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)の除外について
- 議第 67 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部変更について
- ※報告事項 (1)職務執行報告について ア.事業執行状況 イ.入館者状況
- 3 月 23 日 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく事業計画等(令和 5 年度事業計画書・収支予算書等)に係る提出書の提出
- 3 月 30 日 山形県知事に定款の一部変更(基本財産の額の変更)に伴う変更届を提出

5, 役員に関する事項

(1) 理事

代表理事	清	野	伸	昭
理事	晋	道	純	一
理事	佐	藤	信	幸
理事	平	井	康	博
理事	五	十	嵐	庄
理事	土	屋		講
業務執行理事	木	村	義	博 (令和 4 年 6 月 28 日退任)
業務執行理事	會	田	啓	一 (令和 4 年 6 月 28 日就任)

(2) 監事

監事	川	合	賢	助
監事	井	上	真	一

(3) 評議員

評議員	横	戸	長	兵衛
-----	---	---	---	----

評	議	員	長	澤	長	右	衛	門
評	議	員	横	戸				隆
評	議	員	大	瀧				保
評	議	員	山	川	庸			久
評	議	員	後	藤	恒			裕
評	議	員	松	本	佳			子